



Joyful Naturalist



Contents

- Topics
 - ＜特集1＞鶴見川源流祭
 - ＜特集2＞PGV(パナソニックグリーンボランティア) 研修受入
- NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動
- 鶴見川源流ネットワーク参加団体活動
- 5月、6月の活動報告
- 7月、8月の活動予定

No.176

★野中谷戸にホタル乱舞



6月末の某日。梅雨の中休みの多摩丘陵奥の宵。鶴見川源流野中谷戸奥地に、ホタルの確認に入りました。月明かりもない曇天。谷の空気は意外に乾燥していて爽快なのですが、予想通りというべきか、ヤブたちの歓迎を受けました。さて、ホタルたちは、登場するか。8時前、同行のスタッフが、柳の森の奥の流れの脇のササヤブで数頭が光りだすのを発見。8時を過ぎて、飛翔がはじまりました。木立にかこまれた空所に、細い流れの上に、葦の原に、作業の道の上空に、さらに野中谷戸源流本流のまっくらやみに、次々にゲンジボタルの閃光登場し、70を越す数となりました。闇を貫くホトトギスのさえざり一度。谷に響くシュレーゲルアオガエルの鳴き声。葦原の流れから低く響いてくるツチガエルの声。耳をすませば、深い葦原のそこかしこから、小さな金の鈴を振る、キンヒバリのほそく限りなく美しい声。ホタルの光に飾られて深深と静まってゆく源流に、生きものたちの深い鼓動がひろがってゆきます。いつまでもいつまでも、この地が、いのち賑う多摩丘陵源流・聖地でありますように。

【文：NPO鶴見川源流ネットワーク代表理事 岸 由二／イラスト：岸 みずき】